



▲1月24日に第一児童館で開催された、すぎの子母親クラブ主催の子育て休憩室「とんとん」

# あふれ いれ

## 1 母親クラブ

親子のきずなづくりを  
応援します！

「まちのこは みんなわがこ」を合言葉に、子どもたちの健全育成や子育て支援などを主な活動として、昭和51年から活動が始まり

## Interview

### ●すぎの子母親クラブ会長 佐々木とし子さん (城北町)

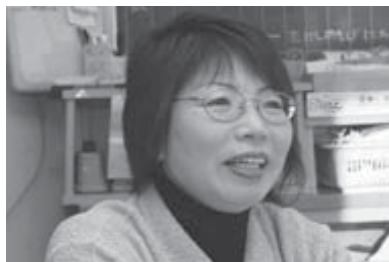


現在、93人の会員で公園や通学路の安全点検などの活動をしています。結成以来、継続して行っているのが第一小学校に入学する子どもたちに、会員全員で手作りのマスクとマスク入れをプレゼントする事業です。今年からは、歯磨き用のコップ入れに変更して、福岡小学校と併せて150人にプレゼントすることにしています。

また、児童館の子どもたちと一緒に合唱などの練習をして、老人ホームの慰問のほか、幼稚園や保育園などでの人形劇の上演なども行っています。

子育て支援の活動としては、就学前の子どもとお母さんたちの遊び場「とんとん」を毎月開催しています。母親クラブは、子育てを卒業したお母さんたちの活動というイメージがあるので、子育て中のお母さんたちに「とんとん」に参加いただいて、仲間づくりを行っています。「おやつタイム」では、お母さんたちとの会話も弾みます。

### ●どんぐり母親クラブ会長 大野昌子さん (旭町)



会員は84人で、児童館行事のお手伝いを中心に活動を行っています。

活動を通じて、「放課後児童クラブ」の子どもたちにとって、「知り合いのおばちゃん」となることで、自分の子どもが卒業した後も、子どもたちとつながっていられることがとてもうれしく思っています。できるだけ、物だけの提供ではなく子どもたちのための活動を行おうと、交通安全運動への参加や公園の安全点検なども行っています。

活動の基本は、各児童館事業への協力をしていくことですが、土、日曜日の学校が休みの時に、児童館施設を利用した事業を通じて子どもたちの成長を見守っていくことが一番の目的です。

そのためにも、これからは子育てサークルの皆さんと交流を深めることで、就学前のお子さんを持つお母さんたちとのネットワークづくりを行っていきたくと思っています。

ました。現在は、第一児童館では「すぎの子母親クラブ」、第二児童館では「どんぐり母親クラブ」がそれぞれ活動しています。会員は、「放課後児童クラブ」に登録している子どもたちのお母さんと、かつて児童館を利用していた子どもたちのお母さんなどで、年間、1人千円の会費で活動を行っています。そ

それぞれの活動のほか、毎年5月の「子どもまつり」や昨年11月の人形劇団の公演など、2つのクラブが協力した事業も行っています。母親クラブは、子育てを終わった人から現在子育て中のお母さんたちが、活動の中でつながりを持つとともに、子どもたちが安全で安心して育つていけるよう見守っていくことを最大の目的としています。

### 母親クラブ会員募集中！

各母親クラブでは、会員を募集しています。年齢や性別は問いません。詳しくは、各児童館にお問い合わせください。

- 問い合わせ先
- 第一児童館 ☎25-7070
- 第二児童館 ☎25-3875

### ■「ほっぶんちょ」にご参加ください！

家庭教育支援をもっと充実させようと、お父さん、お母さんなどに学習する機会を提供しています。

月2回程度開催している「子育て支援学習会・ほっぶんちょ」では、子育てについて専門的な知識を持つ講師の講演や、親子遊びなどのほか、子育てサポーターの皆さんが、子育て中のお母さんたちの相談に気軽に応じます。



▲昨年11月に開催した料理教室では、野菜をたくさん使った栄養たっぷりのおやつを作りました。

☎社会教育課 (中央公民館内) ☎22-1343

### ■子育て中のお母さんたちと市長が懇談！市長のわいわいトーク

1月23日、ふれあいプラザを会場に、子育てサークルのお母さん15人が出席して、風間市長との懇談会「わいわいトーク」が開催されました。

昨年5月から始まった広聴事業の1つの「わいわいトーク」。9回目のテーマは子育て支援です。市長から出産や子育て支援事業の講話の後、お母さんたちから、出産支援や医療費助成、子育てひろばの開設など、さまざまなご意見をいただきました。

その中で、子育てサークルへの会員募集や子育てに役立つ情報提供のために、それぞれのサークルの皆さんと子育て支援センターが協力して情報紙を作るなどが提案され、また1つ子育て環境の充実に向けた取り組みが始まりました。



▶出席したお母さんたちから、活発な意見が出されました



▲副代表の村上早苗さん

「いつも、おばあちゃんのような気持ちで、子どもたちに接しているんですよ」と楽しそう。応援隊の皆さんが、豊かな経験と知識で皆さんの子育てをバックアップします。



▲アドバイザーの遠藤恵子さん

次に、昨年4月からアドバイザーを務めるお二人に話を聞きました。アドバイザーの一人、遠藤恵子さん(福岡長袋)は、「早朝や夕方の時間であっても、気軽に依頼を受けてくれる提供会員さんばかりで、頭が下がります。経験豊かな提供会員の皆さんを、若いお母さんたちはとても頼りにしています。依頼会員さんのお役に立ってるとき、何とも言えない喜びを感じています」とうれしそう。



▲アドバイザーの中田裕子さん

また、同じくアドバイザーの中田裕子さん(郡山)は、「提供会員の皆さんがとても温かい人たちがばかりで、身内の子どもも面倒を見るような感覚でもとても大切にしてくれることに感動しています。お母さんたちの子育てに頑張っている姿や、子どもたちを温かくお世話いただく提供会員の姿を見て、たくさん元気をもらっています」と弾んだ声で話してくれました。

## 3 子育て応援隊

子どもの健やかな成長を応援します！

昨年7月に設立、9月から活動を開始した「子育て応援隊」は、1月末現在、主婦やかつて保育士を経験した皆さんなど、22人で構成されています。応援隊の皆さんは、今までの経験を生かして子育てのお手伝いを行います。具体的には、幼児の健康診査や親子で参加するイベントなどでの託児の応援、子育て中のお母さんたちへのアドバイス、子育て講座の講師などで、12月までの4カ月間で23件の依頼がありました。

1月23日、ふれあいプラザで開催した懇談会「市長とのわいわいトーク」では、お母さんたちが安心して出席できるよう、応援隊の皆さんにご協力をいただきました。15人の出席者のお子さん16人は、4人の応援隊の皆さんの行き届いた気配りで、楽しい時間を過ごしていました。



▲代表の佐藤道子さん

「これは、子どもを大切に思い、子育てに真剣に取り組んでいますね。これからも、そんなお母さんたちを応援していきたいと思っています」と笑顔で話してくれました。